

チョマで卒業証書づくり



発行者
NPO 法人いけま福祉支援センター
電話：75-2870



池間小中学校を卒業する子どもたち（中学3年生と小学6年生）が、自分たちでチョマから紙を漉いて卒業証書を作るという取り組みが今年で3年目を迎えます。今年は、小学校5、6年生と中学3年生の計9名が、ブーの皮をはぐところから、繊維を取り出して細かく刻み、



煮込んでパルプをつくって紙を漉く、という全工程を体験。約10日間かけて自作の卒業証書を完成させました。ブー引きや紙漉きの作業には、生き生きや教室の利用者のみなさんも参加。子どもたちとおばあちが一緒にチョマ紙づくりに取り組みました。



池間島出身で織物組合の仲間伸恵さんと嵩原美智子さんが講



師として来島し、子どもたちにチョマ紙づくりを指導してくださいました。伸恵さんは、小中学校を卒業する子どもたちに、自身と宮古上布との出会いについて、チョマと島にある宝物に気づくことにつ



いて、そして自分が本当に好きな仕事をするということについて、メッセージを送っていました。子どもたちがチョマで自分の卒業証書をつくるという体験を通して、これらの気づきを得ることができたらとても素敵なことです。

出来上がった卒業証書は、書家の先生によって一人一人手書きで証書の文字がしたためられ、3月10日の卒業式当日に卒業生に手渡されます。



池間大橋開通27周年記念 イベント開催

2月17日、池間大橋の開通27周年を記念したイベントが島おこしの会主催で開催されました。午前中は、池間大橋を歩いて渡り往復するウォーキング、午後はグラウンドゴルフ大会が行われ、昼食には、豚汁の炊き出しが振舞われました。ウォー

キングには、約100名が参加。島民だけでなく、協賛をいただいた企業の社員のみならず、島外からも大勢の方が参加しました。天候が心配されましたが、



ウォーキング、グラウンドゴルフとも後半少々雨がぱらつく程度で無事に行うことができ、楽しみながら、大橋の架橋に感謝する一日となりました。



ユイと十六日祭

池間島では旧暦1月15日に「ユイ」として行事を祝う家庭が多いのですが、十六日にもお供えをしたり、お墓詣りをするという家もあります。ところで今年の旧十六日は、子(ね)の日にあたり、お墓に行くことができない日取りとのことでした。子(ね)のつく日は「根付く」ことから、お墓には近寄らないようにという言い伝えによるものだそうです。

池間食堂再開

2017年から約2年間運営を休止していた池間食堂が、今月27日、再びオープンします。経営は奥原稔子さんと山田やすよさん。上里奨さん、清美さん、仲間静枝さん、野原悦子さんも厨房で腕を振るい、池間島であがった新鮮な魚や島の食材を使った家庭料理を中心に提供していくとのことでした。

メニューは、魚料理(さしみ、てんぷら、煮物、からあげなどいずれか)または豚の味噌煮に、小鉢3品とご飯と味噌汁がついた定食、サメ肉のカレー。さらに、スペイン料理のタパスコンクールで日本代表に選ばれたというシェフたちが監修したレインボータコライス、海の幸のパエリア、といった彩り鮮やかなメニューも登場します。「島の素材使ったお料理を、島の方にも観光客の方にも食べに来てもらえるように作っていきます。ゆくゆくは、島で作っている農産物を使ったメニューや、レトルトやパウチにできる加工品の開

発、お土産用の商品を置いたりする予定。食堂を訪れる方にいろいろな方を紹介できるようにして、池間のもものを外に広げていくための場所になれば。」と意気込みを話しています。営業時間は午前11時～午後5時。不定休。



今後の予定

3月1日(金) 県立高校卒業式
3月2日(土) 14時～

すていがふう奨学金贈呈式
3月10日(日) 池間小中学校

卒業式

3月8日～10日 島あっちい